

事業概要説明シート

事務事業番号

10302210004

事務事業名	歴史的景観保全事業		
事業開始年度	2002(H14)年度	担当部署	都市整備部 都市整備推進室

根拠法令	決裁(国土交通省:街なみ環境整備事業制度要綱、社会資本整備総合交付金交付要綱)											
実施方法	☒ 直営 ☐ 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)											
	☐ その他()											
目 的 (何のために)	歴史的景観地区において、地区住民の自主的なまちづくりを促しつつ理解を得ながら、歴史を活かし商業や文化の息づいたまちづくりをめざすことにより、歴史的景観を保全並びに整備することを目的とする。											
対 象 (誰・何を対象に)	枚方宿地区											
事業内容	平成14年から国土交通省の補助を受けながら、道路の美装化や案内サインの整備に取り組み、枚方宿地区では多くの人が訪れ賑わいを取り戻してきている。 平成23年度からは、国土交通省の街なみ環境整備事業が社会資本整備総合交付金に統合され、基幹事業に加え関連事業を効果促進事業として採択され取り組んでいるものである。平成20年には枚方宿地区が大阪府の「ミュージアム都市・大阪」のモデル地区に指定されたことから、新たに無電柱化事業など5つの整備プランを追加し実施した。今後も引続き、社会資本整備総合交付金制度を活用し、新消防本部庁舎の修景などに取り組んでいく。											
類似事業	類似事業は見当たらない											
事業の必要性	歴史的な景観の保全整備は、魅力ある街なみの形成に必要である。											
コ ス ト												
	H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	1.90	人	15,371	千円	0.60	人	4,800	千円	0.30	人	2,372	千円
再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			15,371	千円			4,800	千円			2,372	千円
直接経費(B)			289,701	千円			25,317	千円			0	千円
総事業費(A+B)			305,072	千円			30,117	千円			2,372	千円
財源内訳												
	H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算			
国庫支出金			129486	千円			5,903	千円				千円
府支出金			121724	千円				千円				千円
受益者負担 (使用料等)				千円				千円				千円
その他				千円			46	千円				千円
一般財源			53,862	千円			24,168	千円			2,372	千円
平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容									金 額		
	電線共同溝引込工事請負費									339 千円		
	石畳と淡い街灯まちづくり支援事業費									24,978 千円		
										千円		

事業概要説明シート

事務事業番号 10302210004

事務事業名	歴史的景観保全事業		
事業開始年度	2002(H14) 年度	担当部署	都市整備部 都市整備推進室

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① 無電柱化整備延長	m	380	1	0
	② デザイン照明・街路灯の設置	箇所	17	0	0
	③ 展示盤の設置	箇所	13	0	0
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 無電柱化整備費/整備延長	千円	712	712	0
	② デザイン照明・街路灯の設置費/設置箇所	千円	862	0	0
	③ 展示盤の設置費/設置箇所	千円	334	0	0
成果目標 (目標とする成果)	歴史を大切にしたいまち並みの整備				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	本市のように国の補助制度である「街なみ環境整備事業」や「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」を活用し、公共施設整備に取り組んできた市町村には、富田林市や岸和田市などがある。				
特記事項	大阪府の「ミュージアム都市・大阪」のモデル地区に指定され、「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」(事業期間H23～H25)により無電柱化事業など5つの整備プランを実施し、平成24年度に舗装復旧工事を行い完了した。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成24年度)	現状のまま継続	平成25年度までを事業期間としている社会資本整備総合交付金の整備計画の期間延長について検討を行う。			
一次評価結果 (平成24年度)	・これまでの効果検証と今後の取り組みの方向性、公費投入のあり方について検証が必要では ・他事業も関連しており、体制の見直しを図り、人件費を削減できるのでは(枚方宿地区まちづくり協議会支援助成事業、枚方宿歴史的景観保全地区修景助成事業、歴史的景観保全事業、町家情報バンク支援助成事業) ・助成事業としてのあり方の検討の必要性があるのでは				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	現在、社会資本整備総合交付金の事業期間の延長に向けて整備計画を作成中である。 平成25年度は、これらの整備に向けた協議・調整が中心となることから、人件費の削減を行った。今後も各年度毎の事業計画に合わせ人員体制の見直しを行う。			